妊産婦に関する調査

妊産婦に関する調査　支援実績と内容

【支援対象者の推移】

調査票にご回答いただいた方のうち、記載内容から支援が必要と判断された方を対象に専任の助産師等による電話やメール支援を行っています。

調査年度	電話支援対象者数	回答者の支援者の割合
平成23年度	1,401人	15.0%
平成24年度	1,104人	15.4%
平成25年度	1,101人	15.2%
平成26年度	830人	11.6%
平成27年度	913人	13.0%
平成28年度※	782人	12.9%

	電話支援対象者数	回答者の支援者の割合
平成23年度フォローアップ調査	375人	14.7%
平成24年度フォローアップ調査※	255人	12.7%

※暫定値（平成29年4月30日現在）

【電話による相談内容】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度～平成27年度(同じ順位でした)	平成23年度のフォローアップ
1位	放射線の心配や影響	母親のこころや身体の健康	母親のこころや身体の健康	母親のこころや身体の健康	母親のこころや身体の健康
2位	母親のこころや身体の健康	子育て関連	子育て関連	子育て関連	放射線の心配や影響
3位	子育て関連	放射線の心配や影響	子どものこころや身体の健康	家庭生活に関すること	子育て関連

「子育て関連」の具体的な内容は、離乳食、夜泣き、便秘、予防接種など

第27回福島県「県民健康調査」検討委員会資料をもとに作成

震災後には放射線の心配や影響についての相談が最も多くありましたが、それらの割合は時間の経過と共に徐々に低下しています。平成24年度以降、徐々に母親のこころや身体の健康に関すること、子育て関連等の割合が増え、上位を占めるようになってきました。

平成24年度のフォローアップ調査の要支援率は12.7%と平成23年度フォロー（14.7%）より下回りました。主な相談内容で最も多かったのは、「母親の心身の状態に関すること」（44.9%）でした。また、「放射線の影響や心配に関すること」の相談は13.3%と平成23年度フォロー（25.6%）より下回りました。

本資料への収録日：平成25年３月31日
改訂日：平成29年12月１日